

第3回 西原町行政改革推進委員会
議 事 録

| | | | | | |
|--------|---------------------------|------------|---------------------------|---|---|
| 1. 日 時 | 平成31年1月28日(月) 14:00~16:00 | | | | |
| 2. 場 所 | 西原町役場 2階 災害対策室 | | | | |
| 3. 出席者 | (順不同、敬称略) | | | | |
| | 区 分 | 氏 名 | 所属・役職 | 出 | 欠 |
| ① | 会長 | 瀬口浩一 | 国立大学法人琉球大学 国際地域創造学部教授 | ○ | |
| ② | 委員 | 諸見里利秀 | 税理士・元西原町代表監査委員 | ○ | |
| ③ | 委員 | 岸本恵春 | 沖縄県生産性本部 専務理事 | ○ | |
| ④ | 委員 | 石川京美 | 株式会社いしかわ文明堂 代表取締役社長 | | ○ |
| ⑤ | 委員 | 比嘉明彦 | 株式会社海邦総研 事業支援部兼地域経済調査部 部長 | ○ | |
| ⑥ | 委員 | 新里正雄 | 元沖縄県職員 | ○ | |
| ⑦ | 委員 | 山城敦子 | 金秀興産株式会社 代表取締役社長 | ○ | |
| ⑧ | 委員 | 石黒新海 | 株式会社島酒家 代表取締役社長 | ○ | |
| 4. 議事録 | | | | | |
| (1) | 各委員や本町からご意見を伺いたい事業について | | | | |
| (2) | その他 | | | | |
| | 次回の会議について | | | | |
| | | | | | |
| | 討 議 | (次頁より討議内容) | | | |

以上

| 発言者 | 討議内容 |
|------------------------------------|--|
| 議題（１）各委員や本町からご意見を伺いたい事業について | |
| 事務局 | 資料１の事業に対する確認や意見等について説明。 |
| 委員 | 私立幼稚園就園奨励補助事業は、私立幼稚園をめざしている時点で所得があると考えられるので要らないのではないかと。他の市町村も予算をつけているのか。 |
| 事務局 | 全県的に取り組まれている事業である。役場内でもその必要性は議論になっている。 |
| 委員 | 事業は、何かを削り、何を残すか、極論的なことを行わないと何も変わらない気がする。私立幼稚園就園奨励補助事業は、一遍に無くすのではなく３年かけて減らしていく流れがよいと思う。また、どれくらいの金額を圧縮したいとか、具体的な目標がない。１つの事業ごとに説明を聞いたら、情が入ってすべてが必要になってしまう。１つ１つ検証しても何がかわるのか疑問である。平和事業を圧縮しているが、沖縄は戦争をふまえて平和を思っているけど、それを語る人達が何人残っているのか。もっとこの事業を手厚くして、私立幼稚園を圧縮するほうがいい。分配が違うように感じる。幼稚園が不足しているなどの理由で、所得に応じて補助をしているのであればよいと思う。 |
| 事務局 | ご質問のいくら削るかは、今後の１０年間に毎年８億円から９億円足りない状況が続くので、この額を削らないといけない。そのため、大きな予算の道路事業などは計画期間を延ばしたりして、その年の事業費を少なくし、後年に延ばしている。 |
| 委員 | 経営で言うと、道路計画を延ばしても、事業見直しをしないと行政は何も変わらないと思う。一括交付金事業で実施しているファーマーズは用地を購入しているが返還するなど計画を思いっきり変えないといけない。このメンバーを集めて数千万を削減しても時間が無意味だと思う。ここで農産物は取れないと思うし、他県産地から仕入れする、JAも乗り気ではない、ハコモノを造る、加工場を貸す、しかし、加工場はハサップの対応ではない、活用する方はどれだけいるのか、塩漬けになることを考えると他に予算を回したほうが理にかなっている。９億円のかい離に対して細かいことをやる前に思い切ったことをやらないと変わらない。この会議にトップが来るべきで、上が変わらないと下が変わらない。この時間は無駄だと思う。議員の人数も多いと思うのでやることはやったほうがよいと思う。 |
| 委員 | 委員会組織は、町の考え方に基づいて人選も行われていると思う。上の考え方に対して委員会ではどのような意見があるのか。委員会からの意見を町長はどう判断するかが問題である。この委員会からこう削ってほしいと意見を出しても町としては、政治的問題、行政的問題があつて、なかなか自分一存で継続している事業をすぐに削ることは難しいところがある。この委員会ではどのような考え方で設置したのかが知りたい。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>政治的なものがたくさんあり、大きな事業は行われている。委員からご指摘のある直売施設は、議会でも予算の賛否が同数で割れて議長採決で了承されている。財政状況が厳しい中でスタートした事業である。委員の皆様には事業に対する意見をいただきたいと委員会を設置しているので、委員からの意見は町長へ答申の形で伝えることになると思う。</p> <p>行政の委員会は、町長が参加して説明することではなく、会長が代表となり、事務局が委員会の意見を取りまとめることになっている。町長を呼ぶことは、別の議論になる。</p> |
| 委員 | <p>今回、外部委員を集めた理由としては、外部の意見を聞いて9億円をどう圧縮できるかだと思う。外部委員の意見としてファーマーズはやめるなど、大きな柱3つぐらいで進めないと、月に何回かの会議で小さいことをやっても何も変わらない。良いメンバーが集まっているので大きく変えた方がいい。</p> |
| 事務局 | <p>この委員会は、当初から各事業に対して、よく議論になっている事業や課題としてあげられる事業、議会で議論になる事業について、委員の意見を拝聴したいということがスタート地点になる。委員の皆様は9億円を縮める案を出してもらったまでには至っていない。意見を足がかりに圧縮できるものは圧縮、続けていくべきものは継続と、その意見を最終的には町長がどう勘案して政策につなげるかになる。その視点でご協力をお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>委員の事業に対する意見はそれぞれ違うと思う。もう少し大きな枠で、農水産物直売所はどうか、人件費カットを検討に入れたほうがよいとか、そういった議論じゃないと意味がないと思う。外部から来たので9億円が足りない現状をどう見るのかである。各事業の内容を理解しないといけないがその作業に時間を費やしていいのか。会議はあと2回か3回しかないのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>スケジュール間としては、各事業に対する議論は今回で終えて、あとはまとめの作業に入りたいと考えている。委員の皆さんがもっと続けたいのであれば、柔軟に対応して続けていきたい。</p> |
| 会長 | <p>最初に町長から諮問を受けている。この会議での様々な意見を答申という形でまとめて町長へ提言をすることがこの会議の役割である。忌憚のないご意見をいただければと思う。</p> |
| 委員 | <p>一括交付金事業は、2021年度で終了になると思うが、事業数が多いので今回は町単独事業を議論したほうがよいのではないか。</p> |
| 委員 | <p>国からの助成があれば事業は継続してやっていいと思う。</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | この会議は、ポイントを絞って行うほうがいい。外部委員から見た西原町はここがおかしいと大きく捉えて意見を言ったほうがいい。福祉などは細かいところまでわからないので深く立ち入れない。この会議ででている農水産物流通・加工・観光拠点施設とか、あと、この地域には中央公民館や図書館、役場などの会議室があるが使用されているのか。無駄があるのではないかと。あと、与那原町も人件費をカットしているので、西原町も職員を5%～10%カットすることを提案する。 |
| 委員 | 事業費が1,000万円以上を議論するならわかるが、100万円程度の議論は担当課と議論したほうがよい。皆さん忙しい中で集まっているので、もうちょっと精査してほしい。 |
| 委員 | 平成28年度から地方公務員評価制度が始まり、県庁をはじめ、17市町村を見ている。職員の職務実態やしくみ、処遇関係があまりきちっとされていない。給与は年功序列で、仕事をやってもやらなくても一緒である。評価によって頑張った方には頑張ったなりのしくみが必要である。下げることは意欲の低下につながる。気持ちよく働いてもらうことと、職員一人一人が強くなるといけない。政治と行政との質が違うので難しいところがある。議会や委員会の機能はどうあるのか、まったく変わっていない。継続的に機能を持った組織を作ったほうがよい。 |
| 委員 | 目標値が9億円のかい離であるので、他の委員からある人件費の削減は賛成である。スマート自治体をめざして、議員定数の問題や、ITの活用によるシェアリングと業務の標準化、各種遊休施設の統廃合によるスマートな運営によって資金の捻出の検討にシフトしていく必要がある。 |
| 委員 | 人件費の削減は手法の一つではあるが短期的には収支は合う。構造的な収支の合わない問題は残されているため、数年後に同じようなことが起こる。短期的に収支を合わせるだけであれば簡単な手法であるが、事業計画を一通りみたら行政の構造的な問題があるように見える。例えば、町内の色々な団体へ補助金を出しているが、使われ方がまったく分からないとか、チェックがされていないのではないかと。どの程度の無駄があるのか点検する要素も必要である。大型事業の行われかたに対して意見や指摘を行うなど、全体的にみる必要がある。 |
| 委員 | 人件費は最終手段であり、無駄な部分がどこかにあると思う。中身を分けて事業の点検はやっていくことは必要だと思う。 |
| 委員 | 事業費が少ない事業でも職員の方は時間をかけて仕事をしているので時間のコストはかかっている。行政がする仕事なのか、民間に任せるべき仕事などのチェックは必要ではないかと。 |

| | |
|-------------------------|---|
| 委員 | この会議では、事業の中身まで審議するには時間がかかり過ぎる。具体的なことを提案して終わればよいと考えている。 |
| 会長 | 本日は、準備された資料で会議を進めさせていただきたい。委員からの意見については事務局で検討していただきたい。 |
| ○資料1 私立幼稚園就園奨励費補助事業について | |
| 委員 | 国庫支出金が入っているので、行わなければならない事業になるか。 |
| 事務局 | 町長の裁量でやめることもできるかもしれない。 |
| 委員 | 私立に行かないといけない理由があるのか。 |
| 事務局 | 町立幼稚園は、5歳児は待機はなく、すべて入園できるが、4歳児は抽選になる。3歳児と4歳児が私立幼稚園に行くことで、保育園の待機児童の解消になっている。 |
| 各委員 | 段階的に圧縮する方向で進めた方が良い。 |
| ○資料1 自治会運営事業について | |
| 委員 | 自治会になぜ補助金を出しているのか。根拠はなにか。 |
| 事務局 | 以前から実施されている。根拠は地域の活性化であり、自治会活動に活用されている。 |
| 委員 | 補助金は全体でいくらか。 |
| 事務局 | 自治会の人口に補助をしており、約21,000,000円となっている |
| 委員 | 消防団員とか防災員の各自治会の設置はどうなっているのか。 |

| | |
|---------------------|--|
| 事務局 | 自主防災組織の結成を進めているが、まだ12自治会である。消防団員は役場にはいるが、地域にいるかは把握していない。 |
| 委員 | 地域コミュニティや寄留民（きりゅうみん）の問題はあると思うが、地域の安全を守ることを住民が担っていくための防災意識、地域の安全のために補助するなど工夫が必要である。 |
| 事務局 | 自主防災組織が結成されている地域には、1年に10,000円の補助を別に出している。また、公民館を常時開けてもらうための書記を設置すれば、月に45,000円を補助している。町としては、公民館に子供たちや地域の方が集まることをイメージして、地域の活性化を図ってもらうことを考えているが、委員の皆さんはどう考えるかもご意見を伺いたい。 |
| 委員 | このように主観が入って、見方によっては理屈づけはできる訳である。このような単独事業は一律10%又は5%カットとすることがよいのではないか。（各委員賛同） |
| 委員 | 自治会事務委託事業は、使途のチェックが入っていないので気になる。 |
| 事務局 | 自治会事務委託は、自治会長には広報誌等の全戸配布やアンケート調査など色々な仕事をお願いしている。自治会長の手当てとなっている。町が行うと多額の費用がかかるため、自治会長へお願いしている。 |
| 委員 | 自治会長には、色々お願いしていると思われる。悪い関係にはできないため強く言えないと思うが、無駄もあるのではないか。 |
| 事務局 | 一律カットは、この財政状況なので委員からの提案があれば町長判断できると考えている。 |
| ○資料1 東崎公園管理運営事業について | |
| 委員 | サッカーキャンプ誘致を行っていると思うが、芝管理など管理委託はしないといけないのではないか。 |
| 事務局 | 町陸上競技場と東崎公園の芝管理は嘱託職員で管理はしている。町陸上競技場には東京ヴェルディがキャンプで来ているが、東崎公園にはプロチームはあまり来ない。 |
| 委員 | 将来的にMICE施設が来ることになれば、旅館等もできて使いやすい施設になる。収益を上げるために使用料などの検討をしたほうがよいのではないか。 |
| 事務局 | 使用料を上げるのか検討をしたい。 |

| | |
|--------------------|--|
| ○資料1 総合事務運営事業について | |
| 委員 | 総合案内業務や顧問弁護士の費用に3,000万円なのは、費用対効果でどうなのか。 |
| 事務局 | 総合案内業務は賃金職員で行っているので156万円程度である。この事業には色々なものが入っている。例えば、役場全体の電話代、消耗品費、庁舎の保険代などが入っており、資料の説明が悪かった。 |
| 委員 | 総合案内業務は人件費はかかると思うが、庁舎が新しくなって町民はどこに行けばよいか困るので、案内があることは親切だと思う。 |
| ○資料1 さとうきび振興事業について | |
| 委員 | 前にも言ったように農業自体が西原町は高齢化し、収益にもつながらない中で助成をしている。無くなっていく産業だと思うので早めに予算を減少したほうがよいと思う。西原町が農業をどう捉えるか、大きな問題だと思う。 |
| 委員 | さとうきびは売れないかもしれない。実際に8年前から黒糖の販売を行っているが、毎年出荷量が8%落ちている。お買い上げしている方は横並びであるが、件数が落ちている。ほかに変わるものとして水耕栽培などは補助金もでているのでシフトしていくとか、そのほうがビジネスになる。さとうきびにそこまで手厚くしなくていいと思う。 |
| ○資料1 議員報酬事業について | |
| 委員 | 沖縄県は議員定数が多いことは皆さんご承知だと思うが、思い切って15人または14人まで大きく減らしていいと思う。議員報酬に関しても5%減らして、その代わりに活動費をもう少しあげて、やる気のある議員の調査活動費として使えるようにしたほうがよい。 |
| 委員 | 議員は、業務日報はあるのか。 |
| 事務局 | 業務日報は聞いたことはない。 |
| 委員 | 町民の付託を受けて活動しているので、月1に活動報告を議会だよりなどでアピールいただいていると思うが、毎日の活動報告もないのはどうなのか。 |
| 委員 | 特別職報酬等審議会は開かれているのか。 |
| 事務局 | 値上げをする場合には、外部委員の方を招へいして特別職報酬等審議会を開催している。平成30年度は議員改選であったので定数の見直しの議論もあったが、次の議員で考えたいとの答えであった。議員については、町長からどこまで言えるか難しいところがあるため、議員で考えるスタンスになっている。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| 委員 | 特別職報酬等審議会を開いて、議会について問題を提起したほうがよいと思う。議会は別になるので議会定数削減など行政の手が届かないところがある。当該審議会は、少しではあるが指摘ができる機関となっている。 |
| 委員 | この委員会でも議員定数を削減することを提案しないと、西原町は変わらない。 |
| ○資料5 補助事業終了後も町予算のみで継続している事業について | |
| 事務局 | 資料5の事業について説明。 |
| 委員 | 金額的にはどの事業も大きくない。携わっている人たちと話をしないと判断が難しい。 |
| 委員 | 判断ができないので社会実験的に1回やめてみて、どうなのかの実験を実施してもよいのではないかと。 |
| 委員 | 今までもらっているものをやめることは抵抗がある。今後、途中から補助がなくなったら打ち切ることを最初からルールとして決めたほうがよいかもしれない。 |
| 事務局 | 今年も障がい者自動車運転免許取得のための補助事業について、3年間実績がなかったため廃止としたら新聞沙汰になった。関係団体が動くこと世論の状況を見ることになる。 |
| 委員 | 活動状況の記録がないからと根拠はあるが、陳情面にもっていかれると折り合えない。行政としては、この実績がないから廃止せざるえないと論理武装をしていかないと今後、恣意的意見に左右される。社会的実験で廃止したことで問題の数字がでれば説明ができる。行政サービスの在り方に限界がきていると検証する定量的な数字がないと議論ができない。一方、一括交付金事業は、少ない職員数でPDCAを数値で報告することに疲弊していると思う。ここをスマート自治体として工夫で乗り切っていただくことが次の一歩になると思う。 |
| ○資料6 一括交付金事業について | |
| 事務局 | 一括交付金事業について説明。 |
| 委員 | 農水産物流通・加工・観光拠点施設は、ランニングコストもすごくかかるのではないかと。 |
| 事務局 | 指定管理者はJAおきなわが手を挙げていただいて、12月議会で承認されている。建物は町が作り、管理運営はJAおきなわが10年間指定管理を受けることになっている。町からお金は出ない形になっている。 |

| | |
|------------------------------|--|
| 委員 | 税金で作り、ただでJAに貸しているのはおかしいのではないか。 |
| 事務局 | 町の農家が出荷し、6次産業化で特産品開発したりと町の農業を盛り上げていくコンセプトになっている。また、JAは年間480万円の修繕積立をすることになっている。大規模な改修等があれば積立を活用する。 |
| 委員 | 西原町の直売所だから西原町の農産物を販売することになるが、どれくらいあるのか。2～3年後にはすべて町外の農産物になっていたら完璧におかしいことになる。 |
| 会長 | 時間がないため、資料6の事業については次回の会議でご質問等を受ける形にしたい。 |
| (2) その他 次回の会議について | |
| 会長 | 今後の会議の進め方については、事務局に説明をお願いしたい。 |
| 事務局 | 最初の予定では、次回に町長への答申案の議論をしていただくことを考えていた。各事業に対する評価の意見確認。あと、今日の委員会から意見があった細々したことよりも抜本的な議論が必要でないかを答申案の中に入れてることを考えている。もう少し抜本的な議論を続けたいのであれば会議を重ねても問題はないと考えているのでご意見を伺いたい。 |
| 会長 | 次回は答申案を基に議論していくことでよいか。 |
| 各委員 | 了承 |
| 事務局 | 以前にスケジュール案を報告してもらったが、再度、各委員のスケジュール調査をして、参加の多い日を開催日とすることでよいか。 |
| 各委員 | 了承 (会議終了) |